

将来動向：宇宙開発利用全般の方向性

地球軌道利用

- 実用化・商業化で競争で国内外で協力・競争
(通信、地球観測、航行支援、実験・実証プラットフォーム、等)
- 安全保障活動は政府が(宇宙技術を活用)

産業振興

以遠探査

- 野心的な(無人)科学ミッション(小惑星探査、深宇宙、等)
- 有人探査の先行・連携ミッション(月、火星)
- 本格的有人探査ミッション(大規模)は、国際協力で
 - ✓ ISSのパートナーシップは成熟(技術統合、協働、信頼関係)
 - ✓ 日本の得意技術で貢献(ロボット、リサイクル、環境保護、等)

科学

輸送・移動手段の開発

- 技術基盤の革新、自律性の確保

産業競争力強化

日本は有人宇宙飛行に乗り出すべきか？

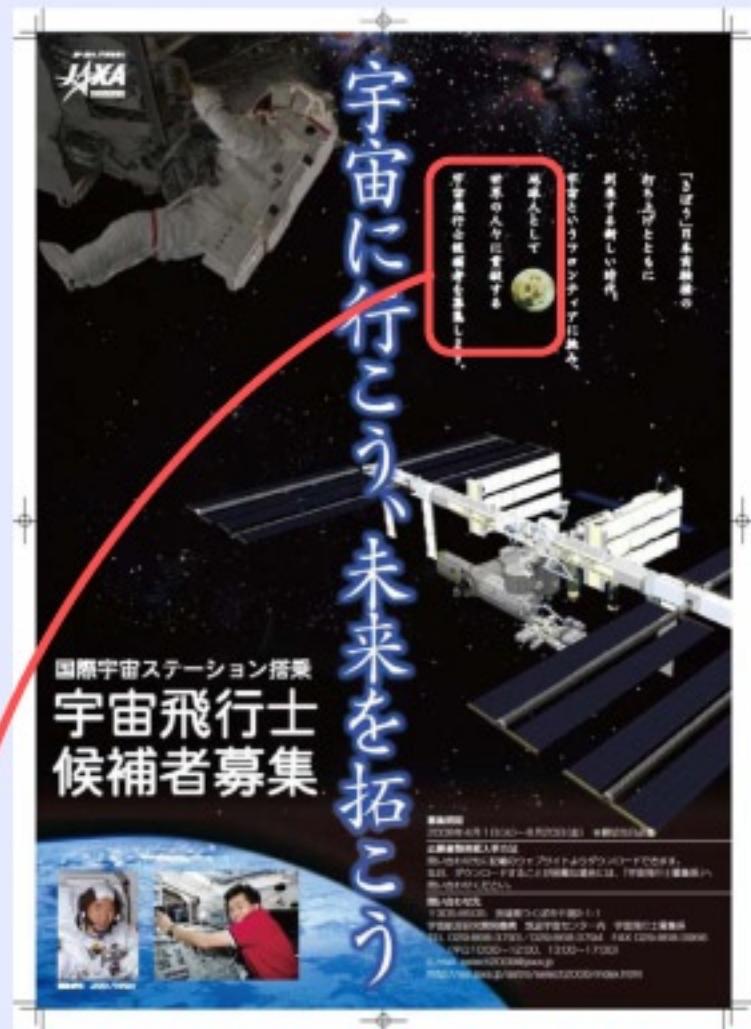
(昨年のシンポジウムでの論点整理)

| 慎重派 | 積極派 |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| 失敗に耐えられない国民性 (100%安全、安全神話) | 人間はフロンティアを開拓するもの (リスクの最小化) |
| 多額の経費 (国家財政が逼迫) | 科学技術立国、将来への投資 (宇宙先進国の一員として、国際協力で) |
| 費用対効果が見出せない | 有形および無形の効果 感性に訴え、共感に（「地球は青かった」） |
| 人が行かなくてもいいのでは？ (得意なロボット技術で充分) | 現場での判断力、人間は最良のセンサー (ロボットと協業で最適分担) |
| 「宇宙の平和目的利用」(日本のユニークさ)を生かせ | |

**ご質問、ご意見をお願いします
ご静聴に感謝！**

Good luck to you all!

宇宙飛行士募集要項 . . . 2008年募集要項(抜粋)



- ✓ 最長6ヶ月程度のISS滞在
- ✓ 2年以上の訓練結果の評価で認定
- ✓ 搭乗決定から1年半程度のミッション訓練
- ✓ 研究開発業務や普及啓発活動も
- ✓ 医学的特性: **158 - 190cm, 50 - 95kg,**
矯正視力1.0以上
- ✓ 心理学的特性: **適応性、情緒安定性、意志力**
(国際的なチームの一員)
- ✓ 日本人としてふさわしい教養
 - 美しい日本語
 - 日本文化や国際社会・異文化への造詣
 - 自己の経験をいきいきと伝える豊かな表現力
 - 人文科学分野の教養

地球人として、世界の人々に貢献する宇宙飛行士候補を募集します